

2017 年度報告会開催



4月18日、天理市の河原城会館にて、2017年度活動報告をしました。これまでのBARAKAや活動報告写真のパネルの展示などと併せて、昨年引き続き、今年もケニアのエンブ事務所と日本側の会場をテレビ電話でつなぎました。

アフリカの中では急激に経済発展しているケニアでも、他のインフラ整備はまだですが、電話回線は急速に質がよくなりました。ただ、双方から会話をすると、途中でプツプツと途切れてしまうことが多いので、向こうから一方的にレポートしてもらう形を取ると、ほとんど音声も画像も途切れることなく、順調に進み、こんなに鮮明にそれも簡単にケニアと日本がつながりました。テクノロジー万歳！



【エイズ孤児院の報告をする美智子夫人】

塩尻所長からはじまり、美智子夫人、日本人スタッフ&ボランティア、ケニア人スタッフと、次から次へと話者が変わり、飽きることなく聞いているうちに、気づけば1時間も経っていました。

その後、最近帰国したボランティアの方、協力者の方からの報告もしていただきました。



Nさんは、大学ではジェンダー(社会的に形成される男女の差異)について学び、大学院を目指す中、ACEFを知り、書籍や資料からではなく、自分の目で現場を見たいとの思いからボランティアに参加してくれました。現地に赴き、自分の認識や想像とは違った点や、アフリカの問題点を改めて考える機会になったと語ってくれました。



また、これまで行政の依頼を受け、消防車をケニアに輸出する協力をしていましたが、税金や手続きに時間がかかり過ぎることから、今後は消防ポンプ(水タンクから直接水を噴射させるポンプ)の輸出に切り替えようと画策しており、そのご協力を頂いたFさんにも進捗状況などを話して頂きました。Fさんの協力で10台もの中古消防ポンプをケニアに輸出することができました。

ボランティア活動レポート①

小学校で授業をする中「物を大切にできているか」ということがとても気になっていました。そう思ったのは、どの学年も、床にペンやノート、教科書が落ちていたり、勉強道具をポイッと投げたりする場面をよく目にしていたからです。そして、今日寮の子供達の前で話す機会があり、そのことについて触れました。



「今、朝から夜まで頑張っているけど、もし勉強道具がなかったら、いくら早く起きても、遅くまで起きていても、勉強できないんだよ。今度から、教室に入って汚れていると思ったら、その授業には参加しません」と、本当に拙い英語なのですが話しました。

正直伝わっているのか心配だったのですが、あとで7年生の子が「今日の夜の数学は来る？」と言うので、「行きたいから綺麗にしてね」と言い、いざ行ってみると、なんと、それまではなかったゴミ箱が教室に置いてあり(おそらく生徒の誰かが自主的に設置した?)子供たちの何人かが「綺麗にしたよ」と話しかけてきて、言った甲斐があったなと心から思いました。

少し言っただけでここまで変わってくれるなら、もしかしたら問題は子供ではなく大人にあるのでは?とも思い、一時的な解決ではなく、これから継続的に続くよう力添えをしたいと思っています。(レポート抜粋)

ボランティア活動レポート②

ケニアは4、5月が雨季らしく、毎日夜になると雨が降っています。マキマは比較的雨が少ない地域らしいのですが、今年は塩尻夫妻も驚くほど連日の大雨で、川沿いの家やヤギが流されたとか。

現在、トランスの故障で停電が続き、電気がつかない状態で、水道も電動ポンプなので出ませんが、雨はタンクに溜められ、生活用水として使用しているので、まさに恵みの雨です。

そんな環境の中でも、ジャンプ&スマイルの子供たちの生活リズムが変わることはなく、学校から帰ると、洗濯・掃除、そして晩ご飯を食べた後の2時間の自習。もちろん停電ですから、晩ご飯を食べる頃には真っ暗です。そのため、マキマに行った時の専らの私の仕事は、携帯電話で子供たちの手元を照らしているのですが、その光が取り合いになるので仲裁するのも一苦労です。

ふとした時に「日本の子供たちは同じ環境だとどうするのか?」と考えます。停電で電気がない中薄暗い明かりに照らされた教科書を、こんなにも必死に見るだろうか。就寝時間ギリギリまで質問に来るだろうか。どんな価値観の違いがあるのだろうか。

マキマの子供たちは、今の環境に感謝しているからこそ、ここまでひたむきに頑張れるのかな、と短いふれ合いながら思われました。(レポート抜粋)



振込先: 郵便局から(窓口・ATM・ゆうちょダイレクト):

ゆうちょ銀行 振替口座 番号:00930-8-66355 アフリカ児童教育基金

*領収書が不要な方は、通信欄に「領収書不要」とご記入ください。

銀行から: ゆうちょ銀行 ○九九(ゼロキュウキュウ)店 当座 0066355 アフリカ児童教育基金

*銀行からの場合、氏名と金額しか確認できません。領収書が必要な方は、住所、氏名を電話かメールでお知らせください。



発行人: 〒632-0063 奈良県天理市西長柄町 265-4 (特非)アフリカ児童教育基金の会 ACEF 代表 小椋 とも代

TEL&FAX: 0743-25-6935 電子メール: headquarters@acef-jpn.com

現地事務所 Africa Children Education Fund(ACEF) P.O.Box 1365-60100 Embu, Kenya